

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5 年度 進捗区分 2 次評価
所属 1010000 総合政策部企画課
短縮番号 01270 北部地域振興交流拠点施設（仮称）推進事業

【基本情報】					
計画次数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画			
政策	006	快適で暮らしやすいまち			
政策達成課題	001	安全で快適な魅力あるまちをつくる			
施策	001	魅力的な中心市街地を整備する			
施策達成課題	001	魅力的な中心市街地を整備する			
基本事務事業	003	北部地域振興交流拠点施設（仮称）推進事業			
詳細事務事業	001	北部地域振興交流拠点施設（仮称）推進事業			
事業期間	平成28年度～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等					
課題・分析	【課題】①北部地域振興交流拠点は、県市の共同事業であるため、県との調整が必要である。 ②県は、北部拠点を新たな県庁のショールームと位置付け、検討を進めており、県のスケジュールに合わせた検討が必要である。 ③次年度以降の県市の役割分担、費用負担等が不透明である。 【分析】①令和3年度策定の埼玉県5か年計画に「北部地域振興交流拠点の検討推進」の位置付けが復活 ②北部地域振興交流拠点への導入機能は、これまで検討してきた産業振興機能のほか、県の熊谷地方庁舎や市役所機能が想定される。 ③令和5年度から、市は、本庁機能の一部又は全部を北部拠点に移転する方向で検討を開始				

【事業分析】	
対象	旧テクノグリーンセンター事業用地（本町二丁目地内）
目的	北部地域振興交流拠点施設（仮称）を整備するために必要な調査・検討を行う。
手段	調整会議を実施する。
その他	

【コスト】								(単位：千円)
	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	
トータルコスト	993	16,217	30,645	56,844	0	0	0	0
事業費	159	231	30,645	56,844	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	159	231	30,645	56,844	0	0	0	0
人件費計	834	15,986	0	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.11	2.09	2.19	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度雇託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-02-01-07-49-01-00-00	北部地域振興交流拠点施設（仮称）推進事業	総合政策部企画課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5 年度 進捗区分 2 次評価
所属 1010000 総合政策部企画課
短縮番号 01270 北部地域振興交流拠点施設（仮称）推進事業

【定量評価】								上段：目標値 下段：実績値
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度

【定性評価】		評価の観点		基準		ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある		5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある		
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい		
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり		
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した		
理由		県のスケジュールに合わせて北部拠点への本庁舎移転の検討が必要				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである		4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである		
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである		
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである		
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する		
理由						
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし		4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ		
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している		
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る		
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る		
理由						
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である		5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体		
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である		
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である		
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である		
理由						
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる		2
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる		
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している		
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している		
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない		
理由						

【1 次評価結果】		
事業の方向性	事業拡大	予算の方向性
北部地域振興交流拠点施設（仮称）の推進については、産業支援施設と市民活動及び県北地域の活性化を図る拠点施設に、新県立図書館を一体整備する方向で、県、市で協力しながら検討を進めてきた。 平成29年2月の県議会で、埼玉県5か年計画への文言整理や予算執行の凍結という審議結果が示されたが、令和3年度に策定からの計画に「北部地域振興交流拠点の検討推進」の位置づけが復活し、産業振興機能について、有識者による検討委員会を設置して、検討が再開された。令和5年度には、大野埼玉県知事から「北部拠点」を新たな県庁のショールームにするという発言があり、県、市で連絡調整会議を設置し、本格的に検討を開始した。市としては、本庁機能の一部又は全部移転も視野に、令和6年度は庁舎整備の基本構想、令和7年度は基本計画を策定予定である。		
1 次コメント （400文字）		

【2 次評価結果】		
事業の方向性	事業拡大	予算の方向性
2 次コメント （400文字）		

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 3510000 産業振興部商業観光課
短縮番号 01285 「中心市街地活性化」まちづくり会社業務支援事業

【基本情報】					
計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画			
政策	006	快適で暮らしやすいまち			
政策達成課題	001	安全で快適な魅力あるまちをつくる			
施策	001	魅力的な中心市街地を整備する			
施策達成課題	001	魅力的な中心市街地を整備する			
基本事務事業	014	「中心市街地活性化」まちづくり会社業務支援事業			
詳細事務事業	001	「中心市街地活性化」まちづくり会社業務支援事業			
事業期間	平成25年度～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	臨時
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	業務経費		
根拠法令等	中心市街地の活性化に関する法律・熊谷市中心市街地活性化事業費補助金交付要綱 有効性、効率性とも好評価のため、継続実施する				
課題・分析					

【事業分析】	
対象	まちづくり会社
目的	中心市街地活性化のため
手段	設立出資、活性化業務の委託、運営経費及び事業費の補助
その他	

【コスト】								(単位：千円)
	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	
トータルコスト	10,525	14,684	12,460	12,460	0	0	0	
事業費	9,160	12,160	12,460	12,460	0	0	0	
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源	9,160	12,160	12,460	12,460	0	0	0	
人件費計	1,365	2,524	0	0	0	0	0	
一般職員（人）	0.18	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
会計年度属託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
その他経費	0	0	0	0	0	0	0	

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-07-01-02-29-01-00-00	「中心市街地活性化」まちづくり会社業務支援事業	産業振興部商業観光課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 3510000 産業振興部商業観光課
短縮番号 01285 「中心市街地活性化」まちづくり会社業務支援事業

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値							
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	
歩行者・自転車通行量 (休日)	人	25,000.00	25,000.00	25,000.00	25,000.00	25,000.00	25,000.00	25,000.00	
		11,375.00	11,726.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】		基準				ランク
カテゴリ	評価の観点					
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4	
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある		
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい		
			2	目的がある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり		
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した		
理由						
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	2	
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである		
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである		
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである		
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する		
理由						
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	3	
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体ののみ		
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している		
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る		
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る		
理由						
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5	
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体		
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である		
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である		
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である		
理由						
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直して	3	
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直して		
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している		
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している		
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない		
理由						

【1次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント (400文字)			

【2次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント (400文字)			

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 3510000 産業振興部商業観光課
短縮番号 01286 「総合戦略」中心市街地活性化活動支援事業

【基本情報】

計画次数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画			
政策	006	快適で暮らしやすいまち			
政策達成課題	001	安全で快適な魅力あるまちをつくる			
施策	001	魅力的な中心市街地を整備する			
施策達成課題	001	魅力的な中心市街地を整備する			
基本事務事業	015	「総合戦略」中心市街地活性化活動支援事業			
詳細事務事業	001	「総合戦略」中心市街地活性化活動支援事業			

事業期間	平成25年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定外事務		

根拠法令等	中心市街地の活性化に関する法律・熊谷市中心市街地活性化事業費補助金交付要綱 大型商業施設と専門店の連携・協力体制の構築により、商店街を構成する専門店の魅力アップを支援し、市内商業の競争力強化及び集客力向上により市内商業の活性化を図る必要がある。
課題・分析	

【事業分析】

対象	まちなかモール委員会、中心市街地の大型商業施設
目的	中心市街地活性化の活性化
手段	中心市街地の大型商業施設5館が実施する共同販売促進事業を支援するとともに、まちなかモール委員会等の活動を支援する。
その他	

【コスト】

(単位：千円)

	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト	6,127	8,031	5,880	6,150	0	0	0
事業費	3,851	4,666	5,880	6,150	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	3,851	4,666	5,880	6,150	0	0	0
人件費計	2,276	3,365	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.30	0.44	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度属託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-07-01-02-41-01-00-00	「総合戦略」中心市街地活性化活動支援事業	産業振興部商業観光課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 3510000 産業振興部商業観光課
短縮番号 01286 「総合戦略」中心市街地活性化活動支援事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
事業実施数	件	10.00 6.00	10.00 5.00	10.00 0.00	10.00 0.00	10.00 0.00	10.00 0.00	10.00 0.00
歩行者・自転車通行量 （休日）	人	25,000.00 11,375.00	25,000.00 11,726.00	25,000.00 0.00	25,000.00 0.00	25,000.00 0.00	25,000.00 0.00	25,000.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
事中評価	事業の優先度	5 他の事務事業に優先して実施する必要がある 4 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある 3 どちらかといえば、実施したほうがよい 2 目的がある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり 1 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	4
理由			
事中評価	事業の必要性	5 市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである 4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである 3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである 2 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである 1 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	2
理由			
事中評価	事業主体の妥当性	5 他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし 4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ 3 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している 2 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る 1 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	3
理由			
事中評価	事業の対象者	5 直接の対象は、すべての市民又は団体である 4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体 3 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である 2 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である 1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	5
理由			
事中評価	市民ニーズの把握	5 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してゐる 4 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してゐる 3 事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している 2 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している 1 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	2
理由			

【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント （400文字）			

【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント （400文字）			

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 3510000 産業振興部商業観光課
短縮番号 01330 「中心市街地活性化」利便施設運営費補助事業

【基本情報】					
計画次数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画			
政策	006	快適で暮らしやすいまち			
政策達成課題	001	安全で快適な魅力あるまちをつくる			
施策	001	魅力的な中心市街地を整備する			
施策達成課題	001	魅力的な中心市街地を整備する			
基本事務事業	017	「中心市街地活性化」利便施設運営費補助事業			
詳細事務事業	001	「中心市街地活性化」利便施設運営費補助事業			
事業期間	平成25年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	臨時
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	業務経費		
根拠法令等	熊谷市内に存する中核的施設及び中心市街地活性化基本計画に定められた施設に対する運営費補助金交付要綱 補助の目的は、駅送迎車両が駅前広場に滞留することによる混雑を緩和するためのティアラ21駐車場の30分無料化や東口自由通路の維持管理に対するものであるが、その趣旨が広く理解されていない。				
課題・分析					

【事業分析】	
対象	株ティアラ21
目的	中心市街地活性化に寄与するティアラ21の駐車場運営等に対し、平成16年11月から令和6年10月まで補助する。
手段	毎年、事業に要した経費のうち3,000万円を限度として補助する。
その他	

【コスト】								(単位：千円)
		令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト		30,379	31,300	29,190	27,706	0	0	0
事業費		30,000	30,000	29,190	27,706	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		30,000	30,000	29,190	27,706	0	0	0
人件費計		379	1,300	0	0	0	0	0
一般職員（人）		0.05	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度雇託職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-07-01-02-28-01-00-00	「中心市街地活性化」利便施設運営費補助事業	産業振興部商業観光課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 3510000 産業振興部商業観光課
短縮番号 01330 「中心市街地活性化」利便施設運営費補助事業

【定量評価】		上段：目標値							下段：実績値	
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度		
年間売上額	千円	355,068.00 927,542.00	355,068.00 927,542.00	355,068.00 0.00	355,068.00 0.00	355,068.00 0.00	355,068.00 0.00	355,068.00 0.00	355,068.00 0.00	355,068.00 0.00
駐車場利用台数	台	206,114.00 243,971.00	206,114.00 243,971.00	206,114.00 0.00	206,114.00 0.00	206,114.00 0.00	206,114.00 0.00	206,114.00 0.00	206,114.00 0.00	206,114.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】		評価の観点		基準		ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある		4
	理由		4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある		
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい		
			2	目的がある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり		
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した		
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである		3
	理由		4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである		
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである		
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである		
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する		
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし		5
	理由		4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ		
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している		
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る		
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る		
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である		3
	理由		4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体		
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である		
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である		
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である		
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直して		1
	理由		4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直して		
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している		
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している		
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない		

【1次評価結果】		
事業の方向性	現状維持	予算の方向性
1次コメント （400文字）	補助金から負担金へ支出の性質が変わったことから、事業の名称を「中心市街地活性化」利便施設運営費補助事業から「中心市街地活性化」利便施設運営費支援事業に変更したい。	

【2次評価結果】		
事業の方向性	現状維持	予算の方向性
2次コメント （400文字）		

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 4010000 都市整備部都市計画課
短縮番号 00437 市街地等開発推進事業

【基本情報】	
計画次数	04 第二次総合振興計画／後期基本計画
政策	006 快適で暮らしやすいまち
政策達成課題	001 安全で快適な魅力あるまちをつくる
施策	001 魅力的な中心市街地を整備する
施策達成課題	001 魅力的な中心市街地を整備する
基本事務事業	001 市街地等開発推進事業
詳細事務事業	001 市街地等開発推進事業

事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		

根拠法令等	都市再開発法、土地区画整理法、マンション建替えの円滑等に関する法律				
課題・分析	現在、上之土地区画整理事業、上石第一土地区画整理事業、龍原中央第一土地区画整理事業の3地区で施行中。				

【事業分析】	
対象	市民
目的	市街地等開発事業の推進及び誘導。
手段	市街地等開発事業について、県との協議及び調整並びに研修会へ参加する。
その他	土地区画整理事業や市街地再開発事業を始めとする面的整備事業を活用し、地域の特色を生かしたまちづくりを進める。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト		12,762	14,468	469	502	0	0	0
事業費		318	318	469	502	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		318	318	469	502	0	0	0
人件費計		12,444	14,150	0	0	0	0	0
一般職員（人）		1.64	1.85	2.93	1.36	1.36	1.36	1.36
会計年度雇託職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-04-07-02-01-00-00	市街地等開発推進事業	都市整備部都市計画課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 4010000 都市整備部都市計画課
短縮番号 00437 市街地等開発推進事業

【定量評価】							上段：目標値	下段：実績値
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
市街地等開発事業（土地区画整理事業数）	地区	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
		3.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】					
カテゴリ		評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
理由					
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
理由					
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
理由					
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	3
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
理由					
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	4
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
理由					

【1次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント （400文字）			

【2次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント （400文字）			

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 0520000 市長公室政策調査課
短縮番号 01802 「総合戦略」スマートシティ推進事業

【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006	快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	001	安全で快適な魅力あるまちをつくる				
施策	002	暮らしやすく、個性あるまちづくりを推進する				
施策達成課題	001	暮らしやすく、個性あるまちづくりを推進する				
基本事務事業	011	「総合戦略」スマートシティ推進事業				
詳細事務事業	001	「総合戦略」スマートシティ推進事業				
事業期間	令和 2年度 ～					
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費		経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独		ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類				
根拠法令等						
課題・分析	人口減少や暑さ対策日本一のまちづくり、災害に強いまちづくり等、まちづくりの諸課題に対応するため、IoT等の新技術を活用しつつ、マネジメント（計画、整備、管理・運営等）を行い、課題解決を図る新しいまちづくりが必要となっている。					

【事業分析】

対象	市内全域
目的	AI・IoTを活用した新しいまちづくりや行政効率化の推進により、地域の魅力と持続可能性の向上を図る。
手段	熊谷スマートシティ推進協議会の運営、政策システムの立案・システム連携に係る検討等
その他	

【コスト】

(単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	73,096	288,368	120,847	147,873	0	0	0
事業費	50,332	246,375	120,847	147,873	0	0	0
国庫支出金	17,489	93,291	0	0	0	0	0
県支出金	4,400	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	28,443	153,084	120,847	147,873	0	0	0
人件費計	22,764	41,993	0	0	0	0	0
一般職員（人）	3.00	5.49	5.49	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度属託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-02-01-07-78-01-00-00	「総合戦略」スマートシティ推進事業	総合政策部企画課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 0520000 市長公室政策調査課
短縮番号 01802 「総合戦略」スマートシティ推進事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 事中評価	事業の優先度	5 他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
		4 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
		3 どちらかといえば、実施したほうがよい	
		2 目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
		1 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
理由			
2 事中評価	事業の必要性	5 市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	2
		4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
		3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
		2 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
		1 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
理由			
3 事中評価	事業主体の妥当性	5 他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	2
		4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
		3 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
		2 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
		1 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
理由			
4 事中評価	事業の対象者	5 直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
		4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
		3 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
		2 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
		1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
理由			
5 事中評価	市民ニーズの把握	5 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してゐる	5
		4 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してゐる	
		3 事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
		2 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
		1 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
理由			

【1次評価結果】

事業の方向性	事業拡大	予算の方向性	
1次コメント （400文字）	【熊谷市誕生20周年記念】 シーンスケッチコンテスト（既存・冠事業として） コミュニティラボイベント（既存・冠事業として） デジタルデザイン企画（＝スマートクールシティ事業）（既存・冠事業として） 熊谷スマートシティ「データドリブンシンボジウム2025」（新規・冠事業として）		

【2次評価結果】

事業の方向性	事業拡大	予算の方向性	
2次コメント （400文字）			

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 4010000 都市整備部都市計画課
短縮番号 02032 都市空間情報デジタル基盤構築事業

【基本情報】					
計画次数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画			
政策	006	快適で暮らしやすいまち			
政策達成課題	001	安全で快適な魅力あるまちをつくる			
施策	002	暮らしやすく、個性あるまちづくりを推進する			
施策達成課題	001	暮らしやすく、個性あるまちづくりを推進する			
基本事務事業	025	都市空間情報デジタル基盤構築事業			
詳細事務事業	001	都市空間情報デジタル基盤構築事業			

事業期間	令和 5年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	臨時
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			

根拠法令等	
課題・分析	3 D都市モデルの市民による情報蓄積、活用を促進し、ニーズを掘り起こす機能が必要。 簡易な操作で、国が作成・公表した3 D都市モデルに他のデータを重ねることができる、汎用的Web GISプラットフォーム「Re:Earth」を基盤として対応することが適当である。

【事業分析】	
対象	市民
目的	官民連携による3 D都市モデルのデータ蓄積・オープンデータの取組を進めるための汎用的Web GISのプラットフォームを整備し、地理空間データの可視化・分析、ニーズ把握、課題解決を目指す。
手段	・ 3 D都市モデルの市民による情報蓄積、活用促進 ・ 民間ニーズの掘り起こし
その他	

【コスト】								(単位：千円)
	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	
トータルコスト	0	65,594	19,523	58,050	0	0	0	
事業費	0	58,940	19,523	58,050	0	0	0	
国庫支出金	0	29,469	9,750	29,025	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源	0	29,471	9,773	29,025	0	0	0	
人件費計	0	6,654	0	0	0	0	0	
一般職員（人）	0.00	0.87	1.03	0.00	0.00	0.00	0.00	
会計年度属託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
その他経費	0	0	0	0	0	0	0	

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 4010000 都市整備部都市計画課
短縮番号 02032 都市空間情報デジタル基盤構築事業

【定量評価】										上段：目標値 下段：実績値
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度		
市民への情報提供の機会	回	0.00 0.00	3.00 5.00	10.00 0.00	10.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	
まちづくり課題の可視化について意見が得られた人の割合	%	0.00 0.00	50.00 81.00	50.00 0.00	50.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	

【定性評価】		カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5 4 3 2 1	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
				今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
				どちらかといえば、実施したほうがよい	
				目的がある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
	理由			事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
2	事中評価	事業の必要性	5 4 3 2 1	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	2
				安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
				安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
				豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
	理由			市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
3	事中評価	事業主体の妥当性	5 4 3 2 1	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
				他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
				他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
				本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
	理由			本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
4	事中評価	事業の対象者	5 4 3 2 1	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
				直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
				直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
				直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
	理由			直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
5	事中評価	市民ニーズの把握	5 4 3 2 1	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してゐる	3
				事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してゐる	
				事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
				事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
	理由			事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	

【1次評価結果】		
事業の方向性	事業拡大	予算の方向性
1次コメント （400文字）	3 D都市モデルの基盤整備としてL O D 2エリアの拡大を行うとともに、多世代に向けた利活用を促進するためユースケース開発の内容を充実させる。	

【2次評価結果】		
事業の方向性	事業拡大	予算の方向性
2次コメント （400文字）		

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5 年度 進捗区分 2 次評価
所属 4510000 建設部管理課
短縮番号 00345 地籍調査事業

【基本情報】	
計画次数	04 第二次総合振興計画／後期基本計画
政策	006 快適で暮らしやすいまち
政策達成課題	001 安全で快適な魅力あるまちをつくる
施策	002 暮らしやすく、個性あるまちづくりを推進する
施策達成課題	001 暮らしやすく、個性あるまちづくりを推進する
基本事務事業	014 地籍調査事業
詳細事務事業	001 地籍調査事業

事業期間	平成17年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	補助	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		

根拠法令等	国土調査法、国土調査法施行令、地籍調査作業規程準則 同運用基準、不動産登記法、土地基本法 国・県からの補助金の配当額に応じ、計画した地区割りに準じて実施した。
課題・分析	

【事業分析】	
対象	地籍調査事業実施区域
目的	国土の開発及び利用等に資するため、国土の実態を科学的かつ総合的に調査するもので、その成果は、不動産登記行政の基礎資料として活用され、土地の権利関係を明確にし、税負担を公平にするほか、公共事業の円滑な実施や土地利用計画の策定、災害の際の円滑な復興などに必要な基礎資料となるものである。
手段	公共基準点を利用した測量や、土地所有者の立会いにより、毎筆の土地の境界・面積・所有者・地目及び地番を明確にする。 実施済区域における成果資料の提供及び修正登記業務。
その他	工程記号の説明 C=地籍図根三角測量 D=地籍図根多角測量 F=一筆地調査 FⅠ=細部図根測量 FⅡ-1=一筆地測量 FⅡ-2=地籍図原図作成 G=地籍測定 H=閲覧・地籍図複写及び地籍簿の作成

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト		63,709	55,569	26,608	28,371	0	0	0
事業費		52,327	44,096	26,608	28,371	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0
県支出金		34,033	14,481	12,904	20,059	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		18,294	29,615	13,704	8,312	0	0	0
人件費計		11,382	11,473	0	0	0	0	0
一般職員（人）		1.50	1.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度雇託職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-01-01-04-01-00-00	地籍調査事業	建設部管理課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5 年度 進捗区分 2 次評価
所属 4510000 建設部管理課
短縮番号 00345 地籍調査事業

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
実施面積（着手済）	km ²	0.37	0.16	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.37	0.16	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果管理面積	km ²	0.34	0.35	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.12	0.13	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
送付遅延地区解消（換算面積での割合）	%	56.41	89.18	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		59.45	90.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】		基準			ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的がある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
	理由		1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	2
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
	理由		1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
	理由		1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	2
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
	理由		1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してゐる	5
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してゐる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
	理由		1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	

【1次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント (400文字)	補助金は、実施予定地区が市街化調整区域から市街化区域に移行したことから、要望額に近い額の補助金交付を見込んでいたが、要望額の半額であったことから、来年度も同様の額の交付が見込まれる。		
	人件費や作業単価の上昇により、当初見込んでいた設計額を超える設計となったことから昨年度より拡大した予算を見込んでいる。 妻沼小島地区は一度補助金を利用して調査を行っているため、国や県の補助金は再度交付されない事業となっているが、令和6年度事業が完了する見込みであり、予算は縮小すると見込んでいる。 地籍測量においても順次認められ始めている最新技術の積極的な利用により、経費の抑制につながっている。		

【2次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント (400文字)			

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 4510000 建設部管理課
短縮番号 00440 道路管理経費

【基本情報】

計画次数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画			
政策	006	快適で暮らしやすいまち			
政策達成課題	001	安全で快適な魅力あるまちをつくる			
施策	002	暮らしやすく、個性あるまちづくりを推進する			
施策達成課題	001	暮らしやすく、個性あるまちづくりを推進する			
基本事業事業	015	道路管理経費			
詳細事務事業	001	道路管理経費			
事業期間	平成25年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	2	事業の分類	法定事務		
根拠法令等					
課題・分析					

【事業分析】

対象	市民
目的	道水路の適正かつ円滑な維持管理を図る
手段	道路台帳の維持管理、道路等敷地の土地借上、購入、官民境界の確認事務を行う
その他	道路台帳修正、官民境界確認等の業務委託や、道路敷地の借上、未登記の道路敷地の土地購入など、道水路の財産管理業務に要する経費

【コスト】

(単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	217,025	218,263	60,533	84,417	0	0	0
事業費	40,984	40,807	60,533	84,417	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	40,984	40,807	60,533	84,417	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	176,041	177,456	0	0	0	0	0
一般職員（人）	23.20	23.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度属託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-02-02-01-00-00	道路管理経費	建設部管理課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 4510000 建設部管理課
短縮番号 00440 道路管理経費

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 事中評価	事業の優先度	5 他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
		4 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
		3 どちらかといえば、実施したほうがよい	
		2 目的がある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
		1 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
理由			
2 事中評価	事業の必要性	5 市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
		4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
		3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
		2 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
		1 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
理由			
3 事中評価	事業主体の妥当性	5 他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
		4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
		3 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
		2 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
		1 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
理由			
4 事中評価	事業の対象者	5 直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
		4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
		3 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
		2 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
		1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
理由			
5 事中評価	市民ニーズの把握	5 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してゐる	3
		4 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してゐる	
		3 事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
		2 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
		1 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
理由			

【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性
道路台帳附図（江南地区）電子化に伴う予算増額		
1次コメント （400文字）		

【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性
2次コメント （400文字）		

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 4010000 都市整備部都市計画課
短縮番号 02016 既存建築物バリアフリー改修促進事業

【基本情報】

計画次数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画			
政策	006	快適で暮らしやすいまち			
政策達成課題	001	安全で快適な魅力あるまちをつくる			
施策	003	人にやさしいまちをつくる			
施策達成課題	001	人にやさしいまちをつくる			
基本事務事業	016	既存建築物バリアフリー改修促進事業			
詳細事務事業	001	既存建築物バリアフリー改修促進事業			
事業期間	令和 5年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律、社会資本整備総合交付金交付要綱（国土交通省） 課題：高齢者や障がい者など全ての人が暮らしやすいユニバーサルデザインの発想に基づくまちづくり 分析：民間の既存建築物のバリアフリー化が不可欠				
課題・分析					

【事業分析】

対象	熊谷市バリアフリー基本構想（R3改定）に定める重点整備地区内の既存の生活関連施設において、高齢者等の利用に配慮した整備等を行う事業者
目的	高齢者や障がい者など全ての人が暮らしやすいユニバーサルデザインの発想に基づくまちづくりを進める。
手段	既存建築物のバリアフリー改修に係る整備費の一部を補助する。
その他	

【コスト】

(単位：千円)

	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト	0	4,971	5,000	5,000	30,000	30,000	30,000
事業費	0	0	5,000	5,000	30,000	30,000	30,000
国庫支出金	0	0	0	2,500	15,000	15,000	15,000
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	5,000	2,500	15,000	15,000	15,000
人件費計	0	4,971	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.00	0.65	0.87	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度属託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 4010000 都市整備部都市計画課
短縮番号 02016 既存建築物バリアフリー改修促進事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
申請者数	件	0.00 0.00	2.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5 他の事務事業に優先して実施する必要がある 4 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある 3 どちらかといえば、実施したほうがよい 2 目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり 1 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した
2	理由		
2	事中評価	事業の必要性	5 市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである 4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである 3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである 2 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである 1 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する
3	理由		
3	事中評価	事業主体の妥当性	5 他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし 4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ 3 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している 2 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る 1 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る
4	理由		
4	事中評価	事業の対象者	5 直接の対象は、すべての市民又は団体である 4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体 3 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である 2 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である 1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である
5	理由		
5	事中評価	市民ニーズの把握	5 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してゐる 4 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してゐる 3 事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している 2 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している 1 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない
	理由		

【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性
1次コメント （400文字）		

【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性
2次コメント （400文字）		

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 4010000 都市整備部都市計画課
短縮番号 00850 景観形成事業

【基本情報】					
計画次数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画			
政策	006	快適で暮らしやすいまち			
政策達成課題	002	熊谷らしい景観を守り、つくり、育てる			
施策	001	熊谷らしい都市景観をつくり、歴史、田園景観を守る			
施策達成課題	001	熊谷らしい都市景観をつくり、歴史、田園景観を守る			
基本事務事業	002	景観形成事業			
詳細事務事業	001	景観形成事業			

事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		

根拠法令等	景観法、熊谷市景観計画及び熊谷市景観条例、屋外広告物法及び熊谷市屋外広告物条例 景観計画、景観条例に基づく届出及び屋外広告物条例に基づく許可申請に対する審査、助言を行った。 また、景観意識を高めるため景観写真展を開催している。				
課題・分析					

【事業分析】	
対象	市民及び事業者
目的	景観計画及び景観条例に基づく届出に対する審査・助言及び市民、事業者・団体に対して指導・意識啓発等を行うことにより、市民が美しいと思う景観の形成誘導を図る。 また、屋外広告物条例に基づく許可申請に対する審査・指導等を行い、景観形成を誘導する。
手段	届出が景観形成基準に適合するか審査・助言を行うとともに、地区の魅力ある景観形成を目的とした活動団体等を支援する。 また、屋外広告物条例に基づく許可申請が審査基準等に適合するか審査・助言を行う。
その他	景観審議会の開催

【コスト】								(単位：千円)
	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	
トータルコスト	12,110	10,926	585	635	0	0	0	0
事業費	121	65	585	635	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	121	65	585	635	0	0	0	0
人件費計	11,989	10,861	0	0	0	0	0	0
一般職員（人）	1.58	1.42	1.08	1.50	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度属託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-04-01-17-01-00-00	景観形成事業	都市整備部都市計画課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 4010000 都市整備部都市計画課
短縮番号 00850 景観形成事業

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値							
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	
熊谷市の景観を美しいと思う市民の割合	%	53.00 46.70	55.00 45.40	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00
住み続けたいと思う市民の割合	%	55.00 44.30	55.00 47.70	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】		カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5 4 3 2 1	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
				今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
				どちらかといえば、実施したほうがよい	
				目的がある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
				事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
2	事中評価	事業の必要性	5 4 3 2 1	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	2
				安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
				安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
				豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
				市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
3	事中評価	事業主体の妥当性	5 4 3 2 1	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
				他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
				他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
				本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
				本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
4	事中評価	事業の対象者	5 4 3 2 1	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
				直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
				直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
				直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
				直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
5	事中評価	市民ニーズの把握	5 4 3 2 1	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	4
				事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
				事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
				事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
				事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	

【1次評価結果】		
事業の方向性	事業拡大	予算の方向性
1次コメント （400文字）	【熊谷市誕生20周年記念】 例年行っている「くまがや景観写真展」の事業を拡大し「くまがや景観フォトコンテスト」として、展示のみならず、コンテスト形式を採用し優れた作品については、出展者に対して記念品及び副賞を授与。 また、出展作品に関しては、3D都市モデルを活用しWebGISツール「Re:Earth」上で作品を公開することで、市内外に対しても熊谷の景観の魅力を広める。	

【2次評価結果】		
事業の方向性	事業拡大	予算の方向性
2次コメント （400文字）		

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5 年度 進捗区分 2 次評価
所属 4010000 都市整備部都市計画課
短縮番号 02017 景観誘導地区景観まちづくり事業

【基本情報】	
計画次数	04 第二次総合振興計画／後期基本計画
政策	006 快適で暮らしやすいまち
政策達成課題	002 熊谷らしい景観を守り、つくり、育てる
施策	001 熊谷らしい都市景観をつくり、歴史、田園景観を守る
施策達成課題	001 熊谷らしい都市景観をつくり、歴史、田園景観を守る
基本事務事業	008 景観誘導地区景観まちづくり事業
詳細事務事業	001 景観誘導地区景観まちづくり事業

事業期間	令和 5 年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	臨時
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			

根拠法令等	景観法、熊谷市景観条例及び景観計画
課題・分析	・景観計画に基づいた良好な景観形成を推進するため、景観意識の醸成や担い手の育成等が必要となる。 ・良好な景観形成を図るためには、市民及び事業者等の協力が不可欠である。 ・市民や事業者等との協働により景観意識の醸成や担い手の育成を図り、市民及び事業者等による主体的、持続的な取組を支援する。

【事業分析】	
対象	市民及び来訪者
目的	景観誘導地区のうち「妻沼聖天山周辺歴史景観誘導地区」で進めてきた取組を継続するとともに「熊谷中心市街地にぎわい景観誘導地区」へ拡大することにより、市民一人ひとりが愛着と誇りを持つことができる景観の継承と創造に資するまちづくりを目指す。
手段	・良好な景観の形成 ・シティプロモーションへの寄与 ・関係団体、機関との協働・連携促進
その他	

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4 年度 決算額	令和 5 年度 決算額	令和 6 年度 予算額	令和 7 年度 計画額	令和 8 年度 計画額	令和 9 年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト		0	12,402	751	17,986	0	0	0
事業費	国庫支出金	0	0	0	7,829	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	317	751	10,157	0	0	0
	人件費計	0	12,085	0	0	0	0	0
	一般職員（人）	0.00	1.58	0.98	1.20	0.00	0.00	0.00
	会計年度雇託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5 年度 進捗区分 2 次評価
所属 4010000 都市整備部都市計画課
短縮番号 02017 景観誘導地区景観まちづくり事業

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値							
指標名	単位	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和10年度	
熊谷市の景観を美しいと思う市民の割合	%	53.00	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00	
		46.70	45.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
住み続けたいと思う市民の割合	%	55.70	55.70	55.70	55.70	55.70	55.70	55.70	
		44.30	47.70	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】		基準			ランク
カテゴリ	評価の観点				
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
理由					
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	2
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
理由					
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
理由					
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
理由					
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直して	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直して	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
理由					

【1 次評価結果】		
事業の方向性	事業拡大	予算の方向性
1 次コメント （400 文字）	熊谷市景観計画に基づく熊谷中心市街地にぎわい景観誘導地区において未策定であった「景観まちづくりビジョン」の新規策定に係る費用及び妻沼分団車庫のシャッターを周辺景観に配慮した色彩・意匠に改修する取組を追加したことによる増額。	

【2 次評価結果】		
事業の方向性	事業拡大	予算の方向性
2 次コメント （400 文字）		

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2 次評価
所属 4520000 建設部道路課
短縮番号 00474 道路整備事業

【基本情報】					
計画次数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画			
政策	006	快適で暮らしやすいまち			
政策達成課題	003	機能的で安全な道路を整備する			
施策	001	生活道路の整備を進める			
施策達成課題	001	生活道路の整備を進める			
基本事務事業	006	道路整備事業			
詳細事務事業	001	道路整備事業			

事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		

根拠法令等	道路法
課題・分析	道路整備延長は目標値に近づいているが、要望件数に対して整備完了件数が追いつかず整備率が上がらない状況である。

【事業分析】	
対象	狭あい道路の利用者
目的	道路冠水の防止、交通安全の確保、生活排水の処理先の確保による良好な生活環境の整備。
手段	陳情や要望に基づく側溝整備や道路拡幅等の工事
その他	平成20年度から、熊谷市道路事業評価システムにより公平かつ効果的に事業を実施している。

【コスト】								(単位：千円)
	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額	
トータルコスト	449,012	378,245	446,740	475,369	0	0	0	
事業費	396,579	319,654	446,740	475,369	0	0	0	
国庫支出金	82,653	32,405	59,255	40,000	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源	313,926	287,249	387,485	435,369	0	0	0	
人件費計	52,433	58,591	0	0	0	0	0	
一般職員（人）	6.91	7.66	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
会計年度属託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
その他経費	0	0	0	0	0	0	0	

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-02-03-03-01-00-00	道路整備事業	建設部道路課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2 次評価
所属 4520000 建設部道路課
短縮番号 00474 道路整備事業

【定量評価】									上段：目標値 下段：実績値
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	
道路整備延長	m	3,000.00 2,808.00	3,000.00 3,196.51	3,000.00 0.00	3,000.00 0.00	3,000.00 0.00	3,000.00 0.00	3,000.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】		カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5 4 3 2 1	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
				今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
				どちらかといえば、実施したほうがよい	
				目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
				事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
2	理由	事業の必要性	5 4 3 2 1	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	3
				安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
				安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
				豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
				市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
3	事中評価	事業主体の妥当性	5 4 3 2 1	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
				他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
				他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
				本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
				本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
4	理由	事業の対象者	5 4 3 2 1	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
				直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
				直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
				直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
				直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
5	事中評価	市民ニーズの把握	5 4 3 2 1	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してゐる	5
				事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してゐる	
				事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
				事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
				事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
		理由			

【1 次評価結果】		
事業の方向性	現状維持	予算の方向性
1 次コメント （400文字）	市民からの要望が非常に多く、市民の安心安全で快適な生活のために重要な施策である。事業を継続していく必要があるが、物価高騰等により、施工のコストが増加している。	

【2 次評価結果】		
事業の方向性	現状維持	予算の方向性
2 次コメント （400文字）		

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 4530000 建設部維持課
短縮番号 00475 橋りょう整備事業

【基本情報】					
計画次数	04 第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006 快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	003 機能的で安全な道路を整備する				
施策	001 生活道路の整備を進める				
施策達成課題	001 生活道路の整備を進める				
基本事務事業	007 橋りょう整備事業				
詳細事務事業	001 橋りょう整備事業				
事業期間	平成25年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	補助	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄	2	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	道路法第 4 2 条				
課題・分析	橋りょう定期点検により健全度Ⅲと判定された橋りょうについては、点検から5年以内に必要措置を講じなければならぬ。 (H26～H30年度橋りょう定期点検健全度Ⅲ判定 道路橋35橋、横断歩道橋2橋) (R1～R5年度 橋りょう定期点検健全度Ⅲ判定 道路橋3橋、横断歩道橋3橋【令和6年3月末】)				

【事業分析】	
対象	橋りょうの利用者
目的	大規模な改修工事が必要となる前に補修を行い、橋りょうの機能を維持することで、利用者の安全確保と経費削減を図る。
手段	橋りょうの定期点検及び補修・修繕工事
その他	

【コスト】								(単位：千円)
	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額	
トータルコスト	325,409	216,471	254,800	399,413	0	0	0	0
事業費	310,145	204,921	254,800	399,413	0	0	0	0
国庫支出金	101,355	100,515	64,020	248,952	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	208,790	104,406	190,780	150,461	0	0	0	0
人件費計	15,264	11,550	0	0	0	0	0	0
一般職員（人）	1.87	1.51	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度属託職員（人）	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-02-04-03-01-00-00	橋りょう整備事業	建設部維持課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 4530000 建設部維持課
短縮番号 00475 橋りょう整備事業

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値							
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	
橋りょう定期点検数	橋	240.00	240.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		240.00	237.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
横断歩道橋定期点検	橋	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】		基準			ランク
カテゴリ	評価の観点				
1 事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある		5
		4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある		
		3	どちらかといえば、実施したほうがよい		
		2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり		
		1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した		
理由					
2 事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである		4
		4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである		
		3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである		
		2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである		
		1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する		
理由					
3 事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし		4
		4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ		
		3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している		
		2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る		
		1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る		
理由					
4 事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である		5
		4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体		
		3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である		
		2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である		
		1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である		
理由					
5 事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してゐる		2
		4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してゐる		
		3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している		
		2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している		
		1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない		
理由					

【1次評価結果】		
事業の方向性	事業拡大	予算の方向性
1次コメント （400文字）	道路法に基づく橋梁及び道路構造物（横断歩道橋）の点検を実施し、橋梁長寿命化修繕計画に基づく橋梁修繕事業と点検結果による補修工事を実施する。 また、橋梁点検業務については、過年度の橋りょう点検DX化事業による実証実験の結果に基づき、デジタル技術を活用した点検手法を導入する。これにより、補助金の対象事業として実施が可能となる。	

【2次評価結果】		
事業の方向性	事業拡大	予算の方向性
2次コメント （400文字）		

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 4530000 建設部維持課
短縮番号 01622 自転車通行環境整備事業

【基本情報】					
計画次数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画			
政策	006	快適で暮らしやすいまち			
政策達成課題	003	機能的で安全な道路を整備する			
施策	001	生活道路の整備を進める			
施策達成課題	001	生活道路の整備を進める			
基本事務事業	016	自転車通行環境整備事業			
詳細事務事業	001	自転車通行環境整備事業			
事業期間	平成30年度 ～ 令和 8年度	9 年間			
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	臨時
事業主体	市	補助単独区分	補助	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等	道路法第42条				
課題・分析	市内北大通線、籠原南地区、東武線跡地について、4箇年に分けて計画的に自転車通行環境の整備をおこなう。				

【事業分析】	
対象	北大通り、籠原南、東武線跡地における自転車利用者及び歩行者
目的	北大通り、籠原南、東武線跡地での歩行者及び自転車通行者の安全性・快適性を高め、より回遊しやすいまちを目指す。
手段	道路の左右に自転車通行帯等の区画線を設置する。
その他	事業期間令和5年度～令和8年度 令和5年度 L=5.8 k m 令和6年度 L=4.1 k m 令和7年度 L=3.6 m 令和8年度 L=6.7 k m

【コスト】 (単位：千円)							
	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト	0	50,401	60,000	156,364	0	0	0
事業費	0	48,795	60,000	156,364	0	0	0
国庫支出金	0	18,466	19,000	86,000	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	30,329	41,000	70,364	0	0	0
人件費計	0	1,606	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.00	0.21	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度属託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-02-02-23-01-00-00	自転車通行環境整備事業	建設部維持課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 4530000 建設部維持課
短縮番号 01622 自転車通行環境整備事業

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値									
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	
熊谷地区工事延長	k m	0.00 0.00	1.90 0.80	2.00 0.00	2.00 0.00	2.20 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	
籠原南地区工事延長	k m	0.00 0.00	0.90 0.90	1.20 0.00	0.70 0.00	0.70 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	
東武線跡地工事延長	k m	0.00 0.00	3.00 1.70	0.90 0.00	0.90 0.00	3.80 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	

【定性評価】					
カテゴリ		評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直して	4
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直して	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【1次評価結果】		
事業の方向性	現状維持	予算の方向性
1次コメント （400文字）	市内北大通線、籠原南地区、東武線跡地について、4箇年に分けて計画的に自転車通行環境の整備をおこなう。	

【2次評価結果】		
事業の方向性	現状維持	予算の方向性
2次コメント （400文字）		

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5 年度 進捗区分 2 次評価
所属 4530000 建設部維持課
短縮番号 02062 橋梁点検 D X 化事業

【基本情報】	
計画次数	04 第二次総合振興計画／後期基本計画
政策	006 快適で暮らしやすいまち
政策達成課題	003 機能的で安全な道路を整備する
施策	001 生活道路の整備を進める
施策達成課題	001 生活道路の整備を進める
基本事務事業	022 橋梁点検 D X 化事業
詳細事務事業	001 橋梁点検 D X 化事業

事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄	事業の分類				

根拠法令等	道路法 4 2 条
課題・分析	道路橋については法令により 5 年に 1 度の点検が義務づけられているが、現在、橋梁点検車や梯子等による近接目視点検を実施している。国土交通省から、新技術等の活用を行いコスト削減の検討が求められている。

【事業分析】	
対象	道路管理者（熊谷市）
目的	道路法で義務付けられた 5 年に一度の橋りょう点検について、デジタル技術等を活用し、点検作業の効率化、コスト削減を図る。
手段	点群データによる 3D モデルを作成し、3D モデル上で損傷状況等の確認を行う。
その他	検証を終えた点検作業は「橋りょう整備事業」にて実施することにより、補助金の対象事業として取り扱える。本事業では、新たな技術等を活用した実証実験を行っていく。

【コスト】								(単位：千円)
	令和 4 年度 決算額	令和 5 年度 決算額	令和 6 年度 予算額	令和 7 年度 計画額	令和 8 年度 計画額	令和 9 年度 計画額	令和 10 年度 計画額	
トータルコスト	0	12,114	11,000	15,231	0	0	0	
事業費	0	10,967	11,000	15,231	0	0	0	
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源	0	10,967	11,000	15,231	0	0	0	
人件費計	0	1,147	0	0	0	0	0	
一般職員（人）	0.00	0.15	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
会計年度属託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
その他経費	0	0	0	0	0	0	0	

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5 年度 進捗区分 2 次評価
所属 4530000 建設部維持課
短縮番号 02062 橋梁点検 D X 化事業

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値							
指標名	単位	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	
DX 実証実験橋りょう	橋	0.00 0.00	20.00 20.00	20.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	

【定性評価】						
カテゴリ		評価の観点			基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある		5
	4		今後しばらくの間、継続して実施する必要がある			
	3		どちらかといえば、実施したほうがよい			
	2		目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり			
	1		事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した			
理由						
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである		4
	4		安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである			
	3		安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである			
	2		豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである			
	1		市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する			
理由						
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし		4
	4		他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ			
	3		他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している			
	2		本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る			
	1		本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る			
理由						
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である		5
	4		直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体			
	3		直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である			
	2		直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である			
	1		直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である			
理由						
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直して		4
	4		事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直して			
	3		事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している			
	2		事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している			
	1		事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない			
理由						

【1 次評価結果】		
事業の方向性	現状維持	予算の方向性
令和 5 年度は、橋梁点検の DX 化に向け点検結果の検証や課題の抽出を目的とした実証実験を行った。結果を基に実用化した点検は橋りょう整備事業に移行。令和 7 年度は損傷 AI 解析の実証実験を行う。		
1 次コメント (400 文字)		

【2 次評価結果】		
事業の方向性	現状維持	予算の方向性
2 次コメント (400 文字)		

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5 年度 進捗区分 2 次評価
所属 4520000 建設部道路課
短縮番号 01860 通学路整備事業

【基本情報】

計画次数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006	快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	003	機能的で安全な道路を整備する				
施策	002	通学路の交通安全対策を進める				
施策達成課題	001	通学路の交通安全対策を進める				
基本事務事業	002	通学路整備事業				
詳細事務事業	001	通学路整備事業				
事業期間	令和 4 年度 ～ 令和 7 年度	4 年間				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常	
事業主体	市	補助単独区分	補助	ハードソフト	ハード事業	
企画課使用欄		事業の分類				
根拠法令等	道路法 久保島地内における玉井小・玉井中の通学路の安全確保が図られる。					
課題・分析						

【事業分析】

対象	玉井小学校の児童及び玉井中学校の生徒
目的	通学路の安全確保
手段	用地買収及び工事
その他	

【コスト】

(単位：千円)

	令和 4 年度 決算額	令和 5 年度 決算額	令和 6 年度 予算額	令和 7 年度 計画額	令和 8 年度 計画額	令和 9 年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト	14,884	32,119	55,925	131,025	0	0	0
事業費	6,006	14,909	55,925	131,025	0	0	0
国庫支出金	0	4,675	26,933	61,500	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	6,006	10,234	28,992	69,525	0	0	0
人件費計	8,878	17,210	0	0	0	0	0
一般職員（人）	1.17	2.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度雇託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5 年度 進捗区分 2 次評価
所属 4520000 建設部道路課
短縮番号 01860 通学路整備事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和10年度
事業進捗率【累計】	%	0.00 0.00	0.00 0.00	35.00 0.00	100.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 事中評価	事業の優先度	5 他の事務事業に優先して実施する必要がある 4 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある 3 どちらかといえば、実施したほうがよい 2 目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり 1 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	4
2 事中評価	事業の必要性	5 市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである 4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである 3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである 2 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである 1 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	4
3 事中評価	事業主体の妥当性	5 他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし 4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ 3 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している 2 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る 1 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	4
4 事中評価	事業の対象者	5 直接の対象は、すべての市民又は団体である 4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体 3 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である 2 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である 1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	5
5 事中評価	市民ニーズの把握	5 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してゐる 4 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してゐる 3 事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している 2 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している 1 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	3
理由			

【1 次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1 次コメント （４００文字）			

【2 次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2 次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 4510000 建設部管理課
短縮番号 01692 道路空洞調査事業

【基本情報】					
計画次数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画			
政策	006	快適で暮らしやすいまち			
政策達成課題	003	機能的で安全な道路を整備する			
施策	003	幹線道路を計画的に整備する			
施策達成課題	001	幹線道路を計画的に整備する			
基本事務事業	016	道路空洞調査事業			
詳細事務事業	001	道路空洞調査事業			
事業期間	平成31年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等					
課題・分析	市道の延長は、現在2,400kmにおよんでおり、市道全域の空洞化調査を実施することは非常に難しい。よって、緊急輸送路である幹線等で下水道幹線など埋設されている箇所について実施する。今後については、道路管理瑕疵で保険対応となった路線等を中心に実施していくこととする。				

【事業分析】	
対象	①道路陥没事故が発生した場合に大きな影響がある幹線であること ②災害時の救援活動に不可欠である緊急輸送路であること ③下水道幹線が埋設されている箇所であること
目的	市道の空洞化調査を行い、路面下の安全性を確認する。
手段	路面下空洞探査車を用いて地中レーダー探査実施を行う。
その他	市道の空洞化調査における一次調査を実施し、路面下の状況によっては、詳細な調査を実施するか、緊急に修繕を行う必要があるかを確認する。

【コスト】								(単位：千円)
	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	
トータルコスト	3,976	4,361	3,900	4,180	0	0	0	0
事業費	3,218	3,597	3,900	4,180	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	3,218	3,597	3,900	4,180	0	0	0	0
人件費計	758	764	0	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度属託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 4510000 建設部管理課
短縮番号 01692 道路空洞調査事業

【定量評価】									上段：目標値 下段：実績値
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	

【定性評価】		カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5 他事務事業に優先して実施する必要がある 4 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある 3 どちらかといえば、実施したほうがよい 2 目的がある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり 1 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	3	3
	理由				
	事中評価				
	理由				
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5 市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである 4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである 3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである 2 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである 1 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	4	4
	理由				
	理由				
	理由				
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5 他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし 4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ 3 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している 2 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る 1 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	4	4
	理由				
	理由				
	理由				
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5 直接の対象は、すべての市民又は団体である 4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体 3 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である 2 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である 1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	5	5
	理由				
	理由				
	理由				
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直して 4 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直して 3 事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している 2 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している 1 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	2	2
	理由				
	理由				
	理由				
	理由				

【1次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント (400文字)			

【2次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント (400文字)			

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 4520000 建設部道路課
短縮番号 01482 籠原駅南口線道路改良事業

【基本情報】	
計画次数	04 第二次総合振興計画／後期基本計画
政策	006 快適で暮らしやすいまち
政策達成課題	003 機能的で安全な道路を整備する
施策	003 幹線道路を計画的に整備する
施策達成課題	001 幹線道路を計画的に整備する
基本事務事業	014 籠原駅南口線道路改良事業
詳細事務事業	001 籠原駅南口線道路改良事業

事業期間	平成27年度～令和 7年度	11 年間			
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	臨時
事業主体	市	補助単独区分	補助	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄		事業の分類			

根拠法令等	道路法、都市計画法 平成27年度に地元説明会及び現況測量を実施し、地元住民からは早期の事業完了が望まれている。
課題・分析	

【事業分析】	
対象	都市計画道路籠原駅南口線（市道125号線）の利用者
目的	籠原駅へのアクセシビリティ・利便性の向上、児童・生徒の安全な通学の確保。
手段	用地買収及び工事を行うことによる。
その他	事業期間 平成27年度～令和7年度 延長L＝約820m、幅員W＝16.0m

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト		140,422	53,942	138,000	168,755	0	0	0
事業費		128,054	46,905	138,000	168,755	0	0	0
国庫支出金		63,739	24,887	0	80,000	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0
地方債		56,400	20,500	127,300	87,900	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		7,915	1,518	10,700	855	0	0	0
人件費計		12,368	7,037	0	0	0	0	0
一般職員（人）		1.63	0.92	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度雇託職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-04-03-13-01-00-00	籠原駅南口線道路改良事業	建設部道路課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 4520000 建設部道路課
短縮番号 01482 籠原駅南口線道路改良事業

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
事業進捗率【累計】	%	70.00	75.00	90.00	100.00	0.00	0.00	0.00
		65.00	69.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】		カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
	理由		1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
	理由		1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
	理由		1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
	理由		1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してゐる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してゐる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
	理由		1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	

【1次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント (400文字)			

【2次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント (400文字)			

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 4520000 建設部道路課
短縮番号 01751 池上地区「道の駅」関連道路整備事業

【基本情報】	
計画次数	04 第二次総合振興計画／後期基本計画
政策	006 快適で暮らしやすいまち
政策達成課題	003 機能的で安全な道路を整備する
施策	003 幹線道路を計画的に整備する
施策達成課題	001 幹線道路を計画的に整備する
基本事務事業	017 池上地区「道の駅」関連道路整備事業
詳細事務事業	001 池上地区「道の駅」関連道路整備事業

事業期間	令和 2年度 ～ 令和 8年度	7 年間			
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	補助	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄		事業の分類			

根拠法令等	道路法 東部地域に整備を計画している仮称道の駅「くまがや」へのアクセス強化が図られる。
課題・分析	

【事業分析】	
対象	池上地区「道の駅」関連道路
目的	仮称道の駅「くまがや」のアクセス道路
手段	新設道路整備
その他	

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト		33,281	73,493	38,782	435,319	140,000	0	0
事業費		17,423	52,459	38,782	435,319	140,000	0	0
	国庫支出金	0	6,570	16,516	92,750	70,000	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	17,423	45,889	22,266	342,569	70,000	0	0
人件費計		15,858	21,034	0	0	0	0	0
	一般職員（人）	2.09	2.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度属託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-02-03-41-01-00-00	池上地区「道の駅」関連道路整備事業	建設部道路課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 4520000 建設部道路課
短縮番号 01751 池上地区「道の駅」関連道路整備事業

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
事業進捗率【累計】	%	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	52.00 0.00	100.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】		基準		ランク	
カテゴリ	評価の観点				
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
理由					
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
理由					
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
理由					
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
理由					
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
理由					

【1次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント (400文字)	令和7年度は、用地買収及び工事を進める。		

【2次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント (400文字)			

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 1010000 総合政策部企画課
短縮番号 00974 総合交通体系整備促進事業

【基本情報】	
計画次数	04 第二次総合振興計画／後期基本計画
政策	006 快適で暮らしやすいまち
政策達成課題	004 利便性の高い公共交通を推進する
施策	001 持続可能で効率的な交通ネットワークを構築する
施策達成課題	001 持続可能で効率的な交通ネットワークを構築する
基本事務事業	001 総合交通体系整備促進事業
詳細事務事業	001 総合交通体系整備促進事業

事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		

根拠法令等	道路運送法地域公共交通の活性化及び再生に関する法律
課題・分析	【課題】 ゆうゆうバスは、市内交通不便地域への交通手段確保、高齢者の免許返納対策等に重要であるが、人口減少、ポストコロナにおける社会変容による利用者減少、収益悪化、全国的な運転士不足が課題である。同様に路線バス、鉄道の収益悪化により利用促進を目的とした各協議会の負担額も上昇傾向にある。 【分析】 人口減少、高齢化が進む中、利便性が高く持続可能な地域公共交通を編成していくことが求められる。

【事業分析】	
対象	市民及び来訪者
目的	路線バス等既存交通との適切な役割分担のもと、本市の公共交通体系の整備・充実を図る。
手段	本市では、鉄道、路線バス及びゆうゆうバスなどの公共交通が連携した利便性の高い公共交通ネットワークの再編を目指す「熊谷市地域公共交通計画」に基づき、計画的に事業を実施している。事業実施の際には、市民、事業者、国、県、公安関係者等で構成されている「熊谷市地域公共交通会議」の場において審議している。
その他	・ 地域公共交通のあるべき姿を審議する「地域公共交通会議」の開催 ・ ゆうゆうバス事業者への運行補助の実施 ・ 路線バス事業者、鉄道事業者への補助の実施

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト		153,095	186,792	202,796	367,523	0	0	0
事業費		147,253	178,379	202,796	367,523	0	0	0
国庫支出金		0	12,469	0	17,119	0	0	0
県支出金		1,913	11,002	2,000	2,000	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		145,340	154,908	200,796	348,404	0	0	0
人件費計		5,842	8,413	0	0	0	0	0
一般職員（人）		0.77	1.10	1.08	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-02-01-07-06-01-00-00	総合交通体系整備促進事業	総合政策部企画課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 1010000 総合政策部企画課
短縮番号 00974 総合交通体系整備促進事業

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
公共交通に満足している市民の割合	%	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
		41.80	43.70	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ゆうゆうバス利用者数	人	250,000.00	250,000.00	250,000.00	250,000.00	250,000.00	250,000.00	250,000.00
		222,217.00	245,227.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】		評価の観点		基準		ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある		4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある		
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい		
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり		
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した		
理由	市民及び来訪者の移動手段の維持・確保のため					
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである		3
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである		
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである		
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである		
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する		
理由	市民及び来訪者の移動手段の維持・確保のため					
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし		4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ		
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している		
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る		
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る		
理由	民間路線バスでは採算が取れない路線のため					
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である		5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体		
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である		
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である		
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である		
理由	市民及び来訪者に広く利用いたideて					
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してゐる		3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してゐる		
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している		
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している		
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない		
理由	バス設置要望等を受け、適宜ルートの見直しを行っている					

【1次評価結果】	
事業の方向性	事業拡大 予算の方向性
1次コメント (400文字)	令和6年度には今後人口減少や高齢化の進行が更に加速することが予想される本市において、移動手段の確保維持と利便性向上を図るため、MaaS基本計画を策定する。令和7年度から本基本計画を元にAIオンデマンド交通サービスを実施する。

【2次評価結果】	
事業の方向性	事業拡大 予算の方向性
2次コメント (400文字)	

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 4030000 都市整備部公園緑地課
短縮番号 00950 公園サポーター制度推進事業

【基本情報】	
計画次数	04 第二次総合振興計画／後期基本計画
政策	006 快適で暮らしやすいまち
政策達成課題	005 親しみある魅力的な公園を創出する
施策	001 特性を生かした魅力的な都市公園を創出する
施策達成課題	001 特性を生かした魅力的な都市公園を創出する
基本事務事業	005 公園サポーター制度推進事業
詳細事務事業	001 公園サポーター制度推進事業

事業期間	平成21年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	臨時
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		

根拠法令等	熊谷市公園サポーター制度実施要領
課題・分析	公園サポーター制度への加入について、自治会や利用団体等へ働きかけた結果、前年度に比べ導入数は増えたが、公園数も増えたため加入率は微減となった。高齢化によって継続が困難な自治会も増えており、加入率の向上や活動の活性化を図るため、報償金の増額だけではなく、新たな支援策について検討する必要がある。

【事業分析】	
対象	公園サポーター制度
目的	住民と行政が協働で快適な公園環境の維持・保全を図るため、公園サポーター制度の導入を推進する。
手段	公園の除草や清掃等の管理・美化活動に対し、備品や報償金を支給する。また、緑化・花いっぱい活動等に対しても支援する。
その他	公園サポーター制度の導入を推進する。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト		22,302	23,488	15,737	16,108	0	0	0
事業費		14,714	15,839	15,737	16,108	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		14,714	15,839	15,737	16,108	0	0	0
人件費計		7,588	7,649	0	0	0	0	0
一般職員（人）		1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度雇託職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-04-05-25-01-00-00	公園サポーター制度推進事業	都市整備部公園緑地課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 4030000 都市整備部公園緑地課
短縮番号 00950 公園サポーター制度推進事業

【定量評価】							上段：目標値	下段：実績値
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
公園サポーター制度導入割合	%	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
		75.50	75.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】		基準				ランク
カテゴリ	評価の観点					
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある		5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある		
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい		
			2	目的がある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり		
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した		
理由						
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである		3
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである		
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである		
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである		
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する		
理由						
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし		4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ		
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している		
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る		
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る		
理由						
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である		3
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体		
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である		
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である		
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である		
理由						
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直して		3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直して		
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している		
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している		
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない		
理由						

【1次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント （400文字）			

【2次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント （400文字）			

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5 年度 進捗区分 2 次評価
所属 4030000 都市整備部公園緑地課
短縮番号 02068 熊谷運動公園子供広場整備事業

【基本情報】

計画次数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	006	快適で暮らしやすいまち				
政策達成課題	005	親しみある魅力的な公園を創出する				
施策	001	特性を生かした魅力的な都市公園を創出する				
施策達成課題	001	特性を生かした魅力的な都市公園を創出する				
基本事務事業	031	熊谷運動公園子供広場整備事業				
詳細事務事業	001	熊谷運動公園子供広場整備事業				
事業期間	令和 5 年度 ～ 令和 6 年度	2 年間				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常	
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ハード事業	
企画課使用欄		事業の分類				
根拠法令等	屋外プールに代わる新たな賑わいの創出、潜在利用者の掘り起こし					
課題・分析						

【事業分析】

対象	市民（主に子育て世代の親子や学生・公園利用者、スケートボード愛好者など）
目的	利用者の活性化やイメージアップ、スポーツ環境の向上
手段	
その他	

【コスト】

(単位：千円)

	令和 4 年度 決算額	令和 5 年度 決算額	令和 6 年度 予算額	令和 7 年度 計画額	令和 8 年度 計画額	令和 9 年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト	0	8,286	200,000	92,334	0	0	0
事業費	0	7,904	200,000	92,334	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	7,904	200,000	92,334	0	0	0
人件費計	0	382	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.00	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度属託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5 年度 進捗区分 2 次評価
所属 4030000 都市整備部公園緑地課
短縮番号 02068 熊谷運動公園子供広場整備事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和10年度

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 事中評価	事業の優先度	5 他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
		4 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
		3 どちらかといえば、実施したほうがよい	
		2 目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
		1 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
理由 公園利用者の活性化やイメージアップ、スポーツ環境向上のため			
2 事中評価	事業の必要性	5 市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
		4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
		3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
		2 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
		1 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
理由			
3 事中評価	事業主体の妥当性	5 他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	2
		4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
		3 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
		2 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
		1 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
理由			
4 事中評価	事業の対象者	5 直接の対象は、すべての市民又は団体である	4
		4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
		3 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
		2 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
		1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
理由			
5 事中評価	市民ニーズの把握	5 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してゐる	3
		4 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してゐる	
		3 事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
		2 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
		1 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
理由			

【1 次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1 次コメント （4 0 0 文字）	○【熊谷市誕生20周年記念】じゃぶじゃぶ池のオープニングセレモニー ・オープン日にイベントとして、キッチンカーや大型のエアスライダーの設置 ・オープニングセレモニー前後1週間の夜間にイルミネーション点灯 ○スケートボード場については、今後、利用者の意見を反映しながら施設の充実を図っていく。		

【2 次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2 次コメント （4 0 0 文字）			